

ケニア国
医療技術教育強化プロジェクト
実施協議調査団報告書

平成 10 年 1 月

国際協力事業団
医療協力部

序 文

ケニア共和国においては、乳幼児死亡率、妊産婦死亡率の改善を図るために地域保健の整備、医療分野の人材育成の拡充が重要課題となっております。

かかる背景のもと、ケニア共和国政府は医療従事者の育成の需要に応えるべき、医療訓練学校として質の高い教育を提供できるよう、教官の能力向上等を主目的とした技術協力としてわが国に対してプロジェクト方式技術協力を要請越しました。

これを受け国際協力事業団は、1995年11月に事前調査団を派遣し、続いて1997年8月に長期調査団を派遣しました。

これらの調査の結果を踏まえ、1998年1月18日から1月31日までの日程で、討議議事録および暫定実施計画を締結することを目的として、国際協力事業団医療協力部長福原毅文を団長として実施協議調査団を派遣しました。本報告書は、この調査結果を取りまとめたものです。

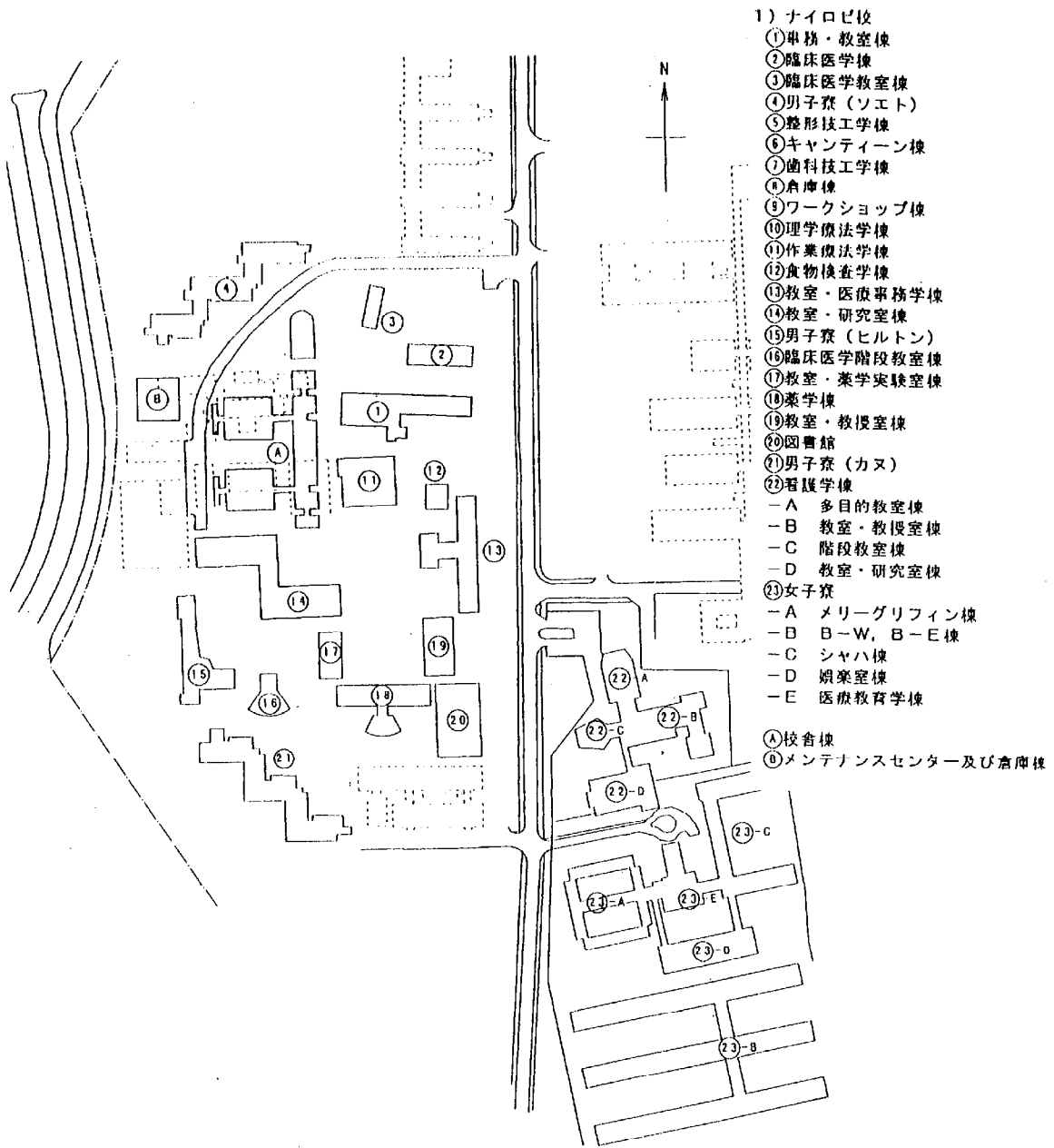
ここに、本調査にあたり、ご協力を賜りました関係各位に対しまして、深甚なる謝意を表しますとともに、今後のプロジェクトの実施・運営にあたり、関係各位の一層のご協力をお願いする次第です。

平成10年1月

国際協力事業団

理事 小澤 大二

ケニア医療技術訓練学校(KENYA MEDICAL TRAINING COLLEGE)



<建て替え計画>

(A)校舎棟(2階建て)	3,692m ²
(B)メンテナンスセンター及び倉庫	778m ²

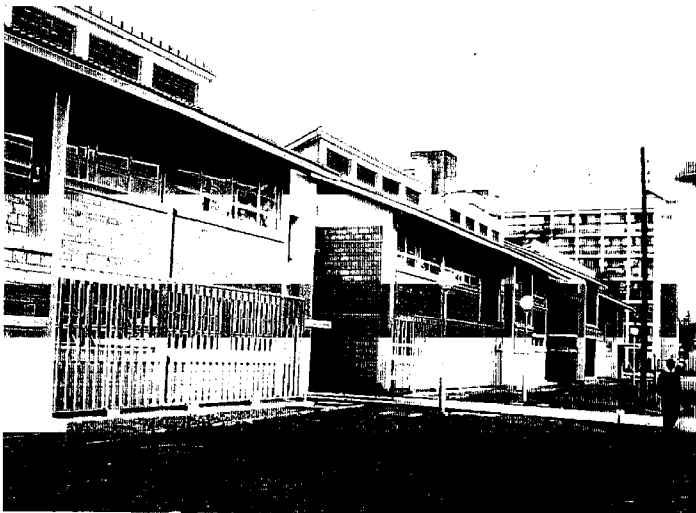
<リハビリ計画：屋根・外装・内壁>

(14)教室・研究室棟	3,104m ²
(16)臨床医学階段教室棟	243m ²
(17)教室・薬学実験室棟	384m ²
(18)薬学棟	664m ²
(22)看護学棟	
-A 多目的教室棟	500m ²
-B 教室・教授室棟	1,400m ²
-C 階段教室棟	500m ²

(1) 事務・教室棟



(A) 校舎棟正面左側から撮影
後方は男子寮（ソエト）



(A) 校舎棟右側廊下2階から
撮影





(B) メンテナンスセンター
および倉庫

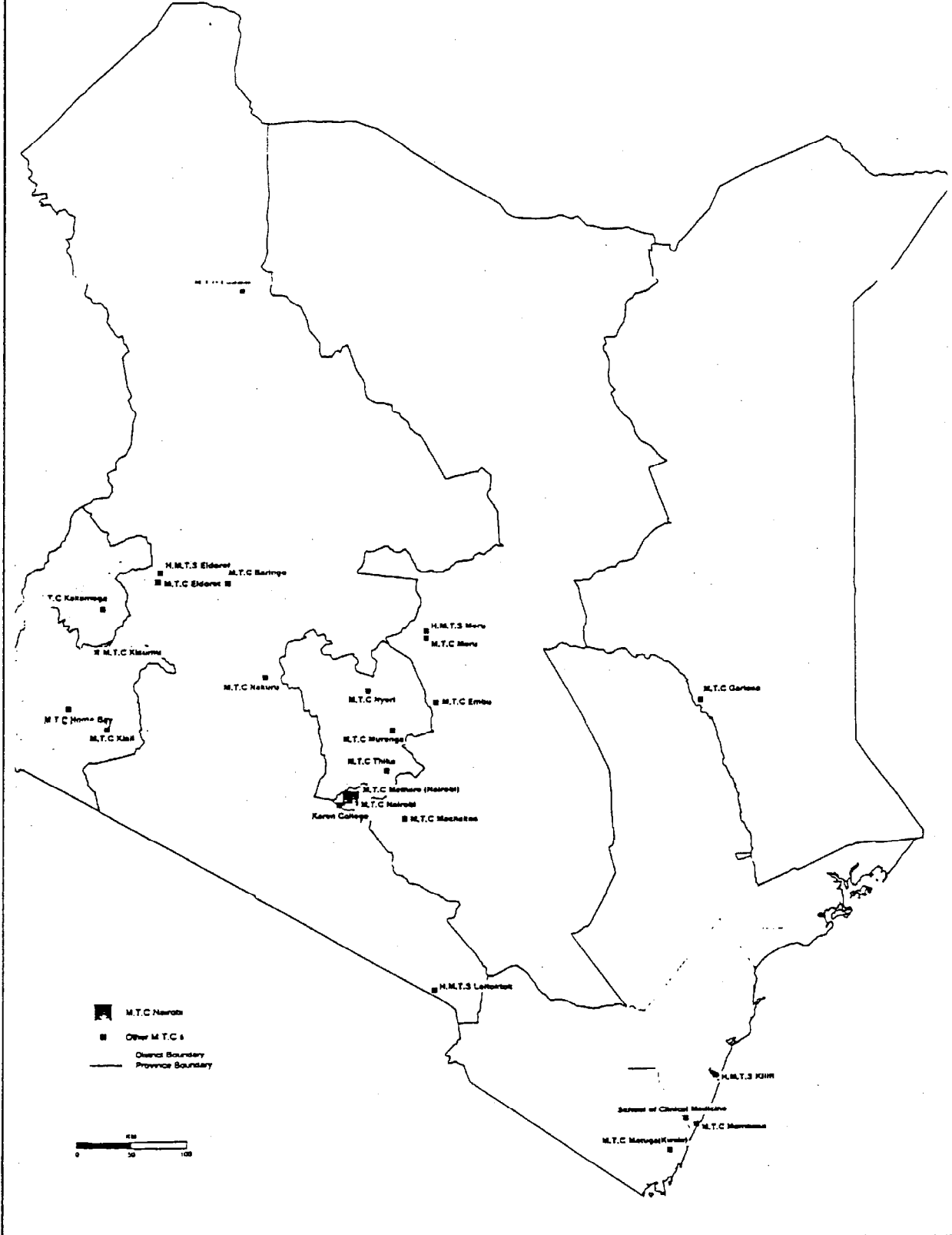


(14) 教室・研究棟



(14/17) 教室・研究棟および
教室・薬学実験室棟
後方は男子寮

KENYA



目 次

序 文
写 真
地 図

1 . 実施協議調査団派遣	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	1
1 - 2 調査団の構成	1
1 - 3 調査日程	2
1 - 4 主要面談者	3
2 . 要約	5
3 . 討議議事録の交渉経緯	6
3 - 1 実施協議概要	6
3 - 2 実施協議調査の経過	6
4 . プロジェクト実施上の留意点	11
4 - 1 実施体制	11
4 - 2 実施計画	11
附属資料	
討議議事録（ R / D ）	15
暫定実施計画（ T S I ）	27
ミニッツ	30

1 . 実施協議調査団派遣

1 - 1 調査団派遣の経緯と目的

ケニア医療訓練技術学校は医師以外（准医師、看護婦、臨床検査技師、放射線技師等）の各種医療従事者の養成機関として1927年に設立され、今日では国内の地域保健に携わる医療従事者の約80%を養成している。第7次国家開発計画（1993～1995年）のなかでも地域保健の整備、医療分野の人材養成の拡充があげられており、同校の重要性はますます高まっている。

同校では質の高い医療従事者養成の需要に応えるべく教材の整備、教官の能力開発に努めてきてはいるが、ノウハウの蓄積がないことから独力で改善するには困難な状況にある。そのため、医療訓練学校として質の高い教育を提供できるよう、教官の能力向上等を主目的としたプロジェクト方式技術協力をわが国に要請してきたものである。

本調査団は、本プロジェクトの最終的なケニア共和国（以下、ケニア）側の要請内容と実施体制および協力実施計画策定を行い、討議議事録（R/D）、暫定実施計画書（T S I）およびケニア側に特に要請する必要がある事項についてミニッツとして取りまとめ、署名・交換を行うことを目的として1998年1月18日から1月31日の日程で派遣された。

なお、わが国の無償資金協力で同校の改修が進行中であり、1998年3月に完工の予定となっている。

1 - 2 調査団の構成

担 当	氏 名	所 属
団長 / 総括	福原 毅文	国際協力事業団医療協力部長
協力計画	長谷川 豊	学校法人国際医療福祉大学国際協力部長
看護教育	関 育子	厚生省看護研究研修センター教官
公衆衛生	大原 賢了	国立公衆衛生院国際協力室長
業務調整	木付 憲孝	国際協力事業団医療協力第二課職員

1 - 3 調査日程

日順	月日	曜日	移動および業務	備考
第1日	1月18日	日	成田発AF275便12h30 パリ着17h10	パリ泊
第2日	1月19日	月	パリ発AF980便11h05 ナイロビ着21h20 到着後、倉科所員と打合せ	ナイロビ泊
第3日	1月20日	火	午前：JICA事務所表敬 午後：保健省表敬、KMTTC表敬 表敬後、KMTTCナイロビ校施設視察	ナイロビ泊
第4日	1月21日	水	午前：KMTTCプレゼンテーション(Mr. B0IT) - 組織・予算・プロジェクト実施体制説明 午後：同上 - プロジェクト活動内容協議	ナイロビ泊
第5日	1月22日	木	午前：KMTTC活動内容協議 - 活動計画最終調整 午後：R/D実施協議 - 実施協議案検討	ナイロビ泊
第6日	1月23日	金	午後：各団員による担当分野関連学部長聞き取り調査およびR/Dの調整	ナイロビ泊
第7日	1月24日	土	KISUMU：福原部長・木付職員 ナイロビ発KQ650便07h00 キスム着08h00 PEPP：エンザロ村視察	ナイロビ泊 福原部長・木付職員：キスム泊
第8日	1月25日	日	キスム発KQ659便11h30 ナイロビ着12h30 資料整理	ナイロビ泊
第9日	1月26日	月	午前：R/D合同会議(KMTTCおよび保健省) 保健省、KMTTC Board of Management KMTTC学長、KMTTC C/P 午後：R/D作成	ナイロビ泊
第10日	1月27日	火	午前：R/D最終調整 午後：R/D署名、JICA事務所報告 関・木付団員はC/P研修員候補者面談	ナイロビ泊
第11日	1月28日	水	福原部長・木付職員 地方校視察(ナクル校視察) 長谷川・関・大原団員は帰国 ナイロビ発KL562便10h00 アムステルダム着17h15	ナイロビ泊
第12日	1月29日	木	午前：KEMRI表敬、分野別進捗状況の確認 午後：KEMRI視察・KIBERAコホート視察 福原部長・木付職員 ナイロビ発BA2068便22h55	他3団員： アムステルダム発KL861便14h20 機内泊
第13日	1月30日	金	ロンドン着04h55 ロンドン発BA005便11h55	成田着09h30
第14日	1月31日	土	成田着08h40	

1 - 4 主要面談者

(1) ケニア側

S.M.MBOVA	PERMANENT SECRETARY, MINISTRY OF HEALTH
IBRAHIM M.HUSSEIN	UNDERSECRETARY, MINISTRY OF HEALTH
C.K.MAILU	HEALTH SECTOR REFORM SECRETARIAT
J.M.N.OLE KIU	CHIEF CLINICAL OFFICER AND REGISTRAR CLINICAL OFFICER COUNCIL, MINISTRY OF HEALTH
MURIITHI	REGISTER NURSING COUNCIL OF KENYA

K M T C 実施協議チーム

W.K.A.BOIT	DIRECTOR, KMTC
M.M.NGUNZI	COORDINATOR, KMTC
PAUL TUUKO	DEPUTY PRINCIPAL, KMTC
M.W.NDEGWA	CHIEF OF PERSONNEL OFFICER, KMTC
J.J.O.OMBAYO	HEAD OF FINANCE AND ACCOUNT, KMTC
M.WAGATHARIA	ACTING REGISTRAR, KMTC
GLADYS KOYENGO	HEAD OF FACULTY OF CLINICAL MEDICINE, KMTC
ANNE BWIKA	HEAD OF FACULTY OF NURSING, KMTC
E.I.CHEGE	HEAD OF FACULTY OF ENVIRONMENT HEALTH SCIENCES, KMTC
BOOKER I.OLUOCH	HEAD OF FACULTY OF HEALTH RECORDS AND INFORMATION, KMTC

K M T C C / P 研修候補者

ANASTASIAH KIMEU	DEPUTY HEAD OF FACULTY OF DENTAL TECHNOLOGY
MONICA NGENY	MOMBASA MTC PRINCIPAL TUTOR

(2) 日本側

在ケニア日本大使館

堀内 伸介	特命全権大使
-------	--------

J I C A ケニア事務所

田上 実	所長
松本 淳	次長
倉科 芳朗	所員

その他

富永 直樹

(株)日本設計国際部主任技師

菅 強

(株)住友建設ケニアKMT C作業所所長

2 . 要約

本調査団の本務は討議議事録（R / D）、暫定実施計画書（T S I）およびケニア側に特に要請・確認する必要がある事項を取りまとめたミニッツの署名にあり、またプロジェクト開始後の具体的な活動が円滑に運営されるための基盤づくりを目的として、同保健省、ケニア医療訓練学校と協議することである。

ケニア保健省はこれまでも保健医療関連の案件であるケニア感染症対策プロジェクト（ ）およびケニア人口教育促進プロジェクト（ ）を通じ、プロジェクト方式技術協力のスキームを理解していたため、事前調査、長期調査を踏まえた本調査では、特に大きな意見の相違はなく、協力期間の5年間にわたる実行計画検討がなされた。

プロジェクト協力活動の大枠合意に達し、具体的な短期専門家派遣計画、供与機材計画等はプロジェクト開始後、長期専門家とさらに協議・検討を重ね決定することとした。

R / Dに盛り込まれた活動の基本方針は次のとおりである。

指導教官のインサービストレーニングの開発

教育カリキュラムの改善

教材作成技術を含めた指導教官の教育手法の強化

なお、本調査において、先方から横断的な技術指導が可能となる公衆衛生専門家派遣の強い要請があった。一方、放射線技術については高度な放射線機器がないために当該分野についての技術協力は必要としないことをケニア側に確認した。

また、現在実施中のケニア感染症対策プロジェクト（ ）およびケニア人口教育促進プロジェクト（ ）とも連携し、プロジェクト成果をフィードバックすることにも十分配慮する必要がある。

以上の調査・協議の結果、1998年1月29日、日本側福原毅文団長とケニア保健省PERMANENT SECRETARY, S.M. MBOVA氏およびケニア医療訓練学校学長W.K.A. BOIT氏との間でR / Dの署名・交換が行われ、本プロジェクトは1998年3月1日より開始されることとなった。

3 . 討議議事録の交渉経緯

3 - 1 実施協議概要

- (1) 無償資金協力によりナイロビ校をはじめとする校舎建築、校舎改修はほぼ終了し、1998年2月17日の引き渡し式に向けて現在供与機材の搬入を行っている。無償終了とともに技術協力の開始について、先方機関は日本側の協力に対して大きな期待を寄せており、新しい学校づくりに取りかかる準備は整ったものと考えている。
- (2) K M T C の日本人専門家受入れ体制としては、カウンターパート（以下、C / P）についてはチーフアドバイザーが学長、業務調整がK M T C COORDINATOR、また専門家には各学部長が対応する直接のC / Pとして設定されており、執務室の確保とあわせて日本側専門家に対するステータスは確保できたものと考えられる。
- (3) K M T C における教官に対する研修実施予算措置が確認できたことから、K M T C をプロジェクトサイトとする技術協力を実施する体制はできているものと判断される。以上から、本案件に関する双方の合意についてR / D署名することとした。

3 - 2 実施協議調査の経過

1998年1月19日（月）

事前打合せ

- ・ 福原団長、木付団員、倉科所員

J I C A ケニア事務所のアレンジ状況および確認事項等について打合せを行った。

先方署名者

先方実施協議体制（K M T C 側）

プロジェクトサイト

保健省のなかでのK M T C の位置づけ

K M T C 組織体制と活動状況

1998年1月20日（火）

J I C A ケニア事務所表敬

- ・ J I C A ケニア事務所：田上所長、松本次長、倉科所員、福原団長以下団員
ケニア事務所長等から調査団に対して、以下の発言があった。

西部地域で開発調査を実施しており、その連携としてK M T C 地方校への協力も必要と

考える。

事務所としても先方の国家計画等情報収集に努力しているものの、ケニアでは国家計画と現状に乖離があり、事務所側から先方に計画と現状の差の説明を求めているのが実状である。

学校運営の強化に対する対応について検討してもらいたい。

一方、調査団からは、下記の発言があった。

保健省が国家計画のなかで人材育成計画をU S A I Dの協力で進めているという状況から、ケニア側の人材育成計画にK M T Cがどのようにリンクして医療従事者の育成を図っているか保健省に確認し、当面はナイロビ校をプロジェクトサイトとし、地方校の取り扱いは今後の検討課題とする。

J I C Aの他プロジェクトとの連携に関しては、P E P P（人口教育促進プロジェクト）の制作部門には教材作成の分野で連携を期待しており、K E M R I（ケニア医学研究所）には何らかの形で専門分野におけるサポートを期待。

先方がパソコンの導入を期待しているところから、当面はパソコンの導入が管理部門の強化に繋がることを期待している。

保健省表敬

・ MOH-PERMANENT SECRETARY, MOH-UNDERSECRETARY, KMTC-DIRECTOR, KMTC-PROJECT COORDINATOR、福原団長以下団員、松本次長、倉科所員

PERMANENT SECRETARY MOHから、ケニア政府を代表して、実施協議調査団のケニア訪問に対する感謝の辞およびケニアにおける日本がトップドナーとしての幅広い協力に対し、ケニア国民も温かく見守っており、K M T Cプロジェクトの実施に向けて実りある協議となることを期待している旨発言があり、一方、調査団から今回の目的はK M T Cプロジェクトのフィージビリティを確認し、今回の協議を経てプロジェクト実施に向けて双方の理解と承認のもとに最終的にはR / Dに署名したいので、滞在期間中にスムーズな協議を行われるよう協力を期待している旨発言があった。

K M T C 本校表敬

K M T C 本校のW.K.A.B0IT学長を表敬ののち、福原団長、長谷川・関・大原団員4名については無償資金協力によるK M T C改善施設の視察を行った。その間、B0IT学長と倉科所員、木付団員3名にて、以下の事項について翌日からの協議の打合せを行った。

K M T C 組織図の提出

予算の仕組み

人事の仕組み

保健省人材養成計画とK M T C 訓練コースの連携

プロジェクトの活動内容

1998年1月21日(水)

実施協議

・ K M T C 本校会議室： K M T C 側実施協議チーム10名、日本側調査団5名、倉科所員

事前打合せに沿って、K M T C 学長から K M T C についてのプレゼンテーションがあり、特に現在の組織体制については、独立採算性が求められているものの保健省の傘下に位置づけられており、組織改革がなかなか進まないのが現状であることが強調されたのに対し、調査団から、先方の組織体制、予算、国家医療従事者育成計画と K M T C の訓練の連携についてあらためて質問が行われ、さらに、日本人専門家に対応する K M T C 側 C / P は学部長クラスを想定していること、プロジェクト実施体制の組織図が不明確であると円滑なプロジェクト運営を実施することができないこと等を申し入れ、現時点における K M T C の組織図の提出を求めた。

次いで日本側からプロジェクト実施体制について説明を行い、また専門家の対応分野が限られていることを説明したうえでプロジェクトのマスタープランについて説明したところ、先方としては日本側の事情も理解できるが、可能な限り広範囲で対応してほしい旨発言があった。

(参考)

K M T C 実施協議チーム：

W.K.A.BOIT	DIRECTOR, KMTC
M.M.NGUNZI	COORDINATOR, KMTC
PAUL TUUKO	DEPUTY PRINCIPAL, KMTC
M.W.NDEGWA	CHIEF OF PERSONNEL OFFICER, KMTC
J.J.O.OMBAYO	HEAD OF FINANCE AND ACCOUNT, KMTC
M.WAGATHARIA	ACTING REGISTRAR, KMTC
GLADYS KOYENGO	HEAD OF FACULTY OF CLINICAL MEDICINE, KMTC
ANNE BWIKA	HEAD OF FACULTY OF NURSING, KMTC
E.I.CHEGE	HEAD OF FACULTY OF ENVIRONMENT HEALTH SCIENCES, KMTC
BOOKER I.OLUOCH	HEAD OF FACULTY OF HEALTH RECORDS AND INFORMATION, KMTC

1998年1月22日(木)

調査、等

午前中、長谷川・大原・関団員はC/Pの要望調査等を行い、さらに午後、長谷川・関団員は保健省等において調査活動を行い、大原団員はC/P研修候補者と面談した。

事務レベルでのR/Dの調整

・KMT C本校会議室：MR.NGUNNZI、木付団員、*MR.NYAMBATI
*MR.NYAMBATIは1996年5月21日～1998年1月8日までJICAケニア事務所のローカルスタッフとして保健省から派遣された実績があり、現在は保健省HEALTH SECTOR SUPPORT COORDINATORである。今回の調査団のサポートのため臨時のJICAローカルスタッフとして参加した。

1998年1月26日(月)

実施協議

・KMT C本校会議室：KMT C側実施協議チーム10名、保健省C.K.MAILU(HEALTH SECTOR REFORM SECRETARIAT)、日本側調査団5名、倉科所員、MR.NYAMBATI
R/Dの内容およびプロジェクト実施体制については下記の項目に沿って協議した。

専門家派遣計画

マスタープラン

C/P研修受入れ

合同委員会

中堅技術者養成対策費

機材保守管理費用負担のケニア側負担

なお、冒頭、保健省DR.MAILUからケニアのHEALTH SECTOR REFORMの概要等について説明があった(Kenya's Health Policy Framework Nov.94 と Kenya's Health Policy Framework Implementation and Action Plan, Feb.96を入手)。

1998年1月27日(火)

事務レベルでのR/D等の最終チェック

・KMT C本校会議室：KMT C側MR.NGUNNZI、日本側調査団福原団長、木付団員
MR.NYAMBATI

最終R/Dチェック、組織図の作成、本案件のA1フォームを確認し、R/D、TSI、ミニッツのオリジナルを作成した。

R / D 署名

- ・保健省 P S 執務室：MOH-PERMANENT SECRETARY、MOH-UNDERSECRETARY、KMT C-DIRECTOR、
KMT C-COORDINATOR、福原団長以下調査団員、松本次長、倉科所員

日本側福原団長、KMT C-DIRECTOR、MOH-PERMANENT SECRETARYが、R / D、T S I、ミニッツに署名（なお、署名者である M O F のFINANCIAL SECRETARYは業務上の理由により不在のため、あらためて署名を取り付けることとした）し、ケニア側、日本側双方からそれぞれ挨拶があった。

J I C A ケニア事務所長に対する報告

- ・ J I C A ケニア事務所：田上所長、松本次長、福原団長以下調査団員

なお、関・木付団員については、モンバサから来た C / P 研修候補者である MONICA NGENY (MOMBASA MTC PRINCIPAL TUTOR) と面談し、これまでの経歴、日本で学ぶ内容のチェックをおこなった。

また、R / D の原案についても双方で確認することとした。

ケニア側から〔ケニア側が取るべき措置 6 . (4) 出張旅費 (5) 住居費について〕は先方から負担できない旨発言があり、調査団からこの科目については J I C A 側が負担することとするが、R / D としては削除することはできない旨説明した。

〔ANNEX V . ケニア側 C / P 〕については、現在 16 学部長が C / P として位置づけることとした。

〔ANNEX . 合同委員会ケニア側のメンバー〕として K M T C 側の実施協議チームのメンバーが引き続き合同委員会のメンバーとなることで合意した。

調査団としては、R / D、T S I、ミニッツの 3 本に取りまとめて残すこととし、特にミニッツの内容としては、

K M T C 側の実施体制が HEALTH REFORM の最中ということから組織体制が変わる可能性が高いところから組織改革後は R / D の修正を行うこと

中堅技術者育成対策費のケニア側負担について詳細に明記したこと

供与機材の保守管理費等をケニア側で負担すること、また、機材リストを作成すること

以上 3 点についてミニッツに掲載して調査団はケニア側と確認した。

4 . プロジェクト実施上の留意点

4 - 1 実施体制

ケニアにおいて現在、HEALTH REFORMと呼ばれる機構改革を推進しており、組織体制が変更される可能性が高いこと、現時点ではナイロビ本校での技術協力を中心として実施計画策定をしているが、将来的にはプロジェクトの進捗状況および専門家のパフォーマンスによっては、K M T C 地方校への技術指導も必要となることも予想されることから、プロジェクトの運営管理体制を強化し、プロジェクトの進捗状況を見極めて対応することが必要になるものと考えられる。

4 - 2 実施計画

長期専門家派遣については、当面は少数精鋭の体制を組み、K M T C 校の運営状況、教授法、使用されている指導教材の問題点等を整理、確認することは優先課題であり、他方、経験豊富な短期専門家の投入によってプロジェクト実施詳細計画の策定が必要となるだろう。また、ケニア感染症対策プロジェクト（ ）およびケニア人口教育促進プロジェクト（ ）の経験、ノウハウを本件プロジェクトに生かすことにより、学校という組織を活用してプロジェクト成果の波及効果も期待できる。特に、教材作成という点においては、ケニア人口教育促進プロジェクト（ ）において技術移転された視聴覚教材、印刷教材作成技術は十分に期待できる。さらに同プロジェクトですでに開発した教材についてもK M T C 校において活用できるものである。

附 属 資 料

討議議事録（R / D）

暫定実施計画（T S I）

ミニッツ

RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN JAPANESE IMPLEMENTATION STUDY TEAM
AND AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF KENYA
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE KENYA MEDICAL TRAINING COLLEGE PROJECT

The Japanese Implementation Study Team organized by the Japan International Cooperation Agency and headed by Dr. Takefumi FUKUHARA, (hereinafter referred to as "the Team"), visited the Republic of Kenya from January 20, 1998 to January 27, 1998, for the purpose of working out the details of the technical cooperation programme concerning the Kenya Medical Training College Project in the Republic of Kenya.

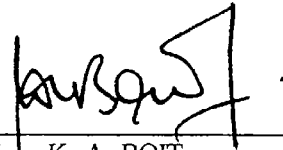
During its stay in the Republic of Kenya, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Kenyan authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result of the discussions, the Team and the Kenyan authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

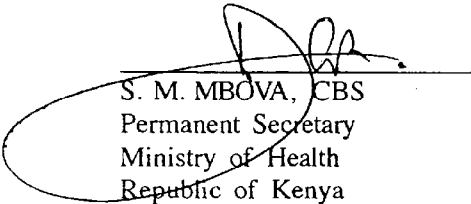
Nairobi, Kenya
January 27, 1998

福原毅文

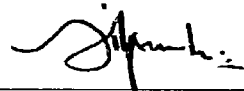
Takefumi FUKUHARA, M.D.
Team Leader
Japanese Implementation Study Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



William K. A. BOIT
Director
Kenya Medical Training College
Republic of Kenya



S. M. MBOVA, CBS
Permanent Secretary
Ministry of Health
Republic of Kenya



J. K. KINYUA
Financial Secretary
Ministry of Finance
Republic of Kenya

ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of the Republic of Kenya will implement the Kenya Medical Training College Project (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in ANNEX I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") according to the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

The Government of Japan will provide the services of the Japanese experts as listed in ANNEX II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The Government of Japan will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III. The Equipment will become the property of the Government of the Republic of Kenya upon being delivered C.I.F. to the Kenyan authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

3. TRAINING OF KENYAN PERSONNEL IN JAPAN

The Government of Japan will receive Kenyan personnel connected with the Project for technical training and/or a study tour in Japan.

4. SPECIAL MEASURES FOR TRAINING OF MIDDLE-LEVEL MANPOWER

To ensure the smooth implementation of the Project, the Government of Japan will take, in accordance with the laws and regulations in force in Japan, special measures through JICA for the purpose of supplementing a portion of local cost expenditures necessary for the execution of the middle-level manpower training programme.

bs -

J. K. Kigara

7/2

①

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF KENYA

1. The Government of the Republic of Kenya will take necessary measures to ensure self-reliant operation of the Project during and after the period of the Japanese technical cooperation, through the full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Government of the Republic of Kenya will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Kenyan nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Republic of Kenya.
3. The Government of the Republic of Kenya will grant in the Republic of Kenya, privileges, exemptions and benefits as listed in ANNEX IV and will grant privileges, exemptions and benefits no less favorable than those granted to experts of third countries or international organizations performing similar missions to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. The Government of the Republic of Kenya will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in II-1 above.
5. The Government of the Republic of Kenya will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Kenyan personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Kenya, the Government of the Republic of Kenya will take necessary measures to provide at its own expense for the Project:
 - (1) Services of the Kenyan counterpart personnel and administrative personnel as listed in ANNEX V;
 - (2) Land, buildings and facilities as listed in ANNEX VI;
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided through JICA under II-2 above;
 - (4) Means of transportation and travel allowances for the Japanese experts for official travel within the Republic of Kenya; and
 - (5) Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Kenya, the Government of the Republic of Kenya will take necessary measures to meet:
 - (1) Expenses necessary for the transportation within the Republic of Kenya of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
 - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in the Republic of Kenya on the Equipment referred to in II-2 above; and
 - (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

770

J. J. J. J.

for

D

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Permanent Secretary, Ministry of Health, the Republic of Kenya, as the Project Director, will bear overall responsibility for the Project.
2. The Director, Kenya Medical Training College (hereinafter referred to as "KMTC"), as the Project Manager, will be responsible for the administrative and technical matters of the implementation of the Project.
3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advise to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese Experts will provide necessary technical guidance and advise to the Kenyan counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, the Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in ANNEX VII.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments, through JICA and Kenyan authorities concerned, at the middle and during the last six (6) months of the cooperation term in order to determine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS (INDEMNITY)

The Government of the Republic of Kenya will bear claims, if any arise, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Kenya except for those arising from the wilful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

RA

JICA

KS.

D

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the Republic of Kenya, the Government of the Republic of Kenya will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Republic of Kenya.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from the 1st March, 1998.

Handwritten mark

JKR

Handwritten mark

Handwritten mark

ANNEX I
MASTER PLAN

1. Overall Goal

To provide competent co-medical personnel in the Republic of Kenya.

2. Project Purpose

To improve the educational capacity of teaching staff in KMTC.

3. Output of the Project

- (1) Development of in-service training programmes for teaching staff.
- (2) Improvement of educational curricula.
- (3) Strengthening of pedagogical skills of teaching staff in KMTC including production skills of educational materials.

4. Activities of the Project

- (1) To conduct training of teaching staff in educational methods and production of materials.
- (2) To carry out research for improvement of educational curricula in the selected fields (Clinical Medicine, Nursing, Public Health, etc.).
- (3) To develop and improve educational materials.

Handwritten mark

Handwritten signature

Handwritten initials

Handwritten mark

ANNEX III

LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Machinery and equipment for:
 - (1) Audio-visual education
 - (2) Production of educational materials
 - (3) Clinical and practical training
 - (4) Field study
 - (5) Administration and management of college
2. Machinery and equipment in other related fields mutually agreed upon as necessary.

7/20

J. King

for.

D

ANNEX II

LIST OF JAPANESE EXPERTS

1. Chief Advisor
2. Coordinator
3. Experts in the following fields:
 - (1) Clinical Medicine
 - (2) Nursing
 - (3) Management Information System
 - (4) Public Health
 - (5) Production of educational materials
4. Other expert(s) mutually agreed upon as necessary

福

J. Koyama

ps.

A

ANNEX IV

PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS

1. Exemptions from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad.
2. Exemptions from import and export duties and any other charges imposed on personal and household effects, including one motor vehicle per family, which may be brought in from abroad or taken out of the Republic of Kenya.
3. In case of an accident or emergency, the Government of the Republic of Kenya will use all its available means to provide medical and other necessary assistance to the Japanese experts and their families.

福

Thiriyus

fd.

ANNEX V

LIST OF KENYAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Project Manager :
The Director of KMTC
2. Project Coordinator
3. Counterpart personnel :
 - (1) Head of Faculty of Clinical Medicine
 - (2) Head of Faculty of Nursing
 - (3) Head of Faculty of Environmental Health Sciences
 - (4) Head of Faculty of Medical Laboratory Sciences
 - (5) Head of Faculty of Pharmacy
 - (6) Head of Faculty of Physiotherapy
 - (7) Head of Faculty of Occupational Therapy
 - (8) Head of Faculty of Orthopaedic Technology
 - (9) Head of Faculty of Community Oral Health
 - (10) Head of Faculty of Dental Technology
 - (11) Head of Faculty of Radiography
 - (12) Head of Faculty of Medical Education
 - (13) Head of Faculty of Health Education
 - (14) Head of Faculty of Medical Engineering
 - (15) Head of Faculty of Health Records and Information
 - (16) Head of Faculty of Community Nutrition
4. Counterpart personnel in other related fields mutually agreed upon as necessary
5. Administrative personnel :
 - (1) Secretary
 - (2) Clerical workers
 - (3) Drivers
 - (4) Other support staff mutually agreed upon as necessary

Handwritten signature

Handwritten signature

Handwritten signature

ANNEX VI

LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land

2. Buildings and Facilities

- (1) Sufficient facilities for the implementation of the Project.
- (2) Offices and other necessary facilities for the Japanese experts.
- (3) Facilities and services such as electricity, gas, and water supply, sewerage systems, telephone, and furniture necessary for the Project activities.
- (4) Transportation facilities for the implementation of the Project.
- (5) Other facilities mutually agreed upon as necessary.

2/18

Mr. [Signature]

[Signature]

ANNEX VII

JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Functions :

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises, and work:

- (1) To formulate an Annual Work Plan for the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation formulated under the framework of this Record of Discussions;
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation programme as well as the achievements of the above-mentioned Annual Work Plan;
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the Project activities;
- (4) To enhance inter-institutional collaboration among the Project participating organizations.

2. Composition :

(1) Chairman: Permanent Secretary, Ministry of Health, Republic of Kenya

(2) Members:

Kenyan Side:

- (a) Director, KMTC
- (b) Project Coordinator
- (c) Implementation Team Members
 - i) Deputy Principal
 - ii) Head of Personnel Services
 - iii) Head of Finance and Accounts
 - iv) Registrar
 - v) Head of Faculty of Clinical Medicine
 - vi) Head of Faculty of Nursing
 - vii) Head of Faculty of Environmental Health Sciences
 - viii) Head of Faculty of Health Records and Information
- (d) Other relevant officer(s) mutually agreed upon as necessary

Japanese Side:

- (a) Chief Advisor
- (b) Coordinator
- (c) Experts
- (d) Other personnel to be dispatched by JICA
- (e) Officials from JICA Kenya Office

Note: 1. Official(s) of the Embassy of Japan in the Republic of Kenya may attend the Joint Coordinating Committee as observer(s).

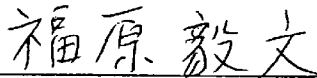
② 暫定実施計画 (T S I)

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION
OF
THE KENYA MEDICAL TRAINING COLLEGE PROJECT

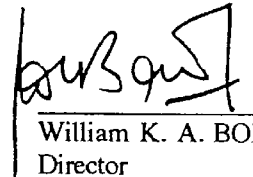
The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as "the Team") and the Kenyan authorities concerned have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation of the Kenya Medical Training College Project (hereinafter referred to as "the Project") as attached hereto.

This Tentative Schedule of Implementation has been formulated in accordance with the Record of Discussions signed between the Team and the Kenya authorities concerned with the Project, and is subject to the budget allocations of both countries necessary for the implementation of the Project. This Tentative Schedule of Implementation is subject to change within the framework of the Record of Discussions when necessity arises in the course of the implementation of the Project.


Nairobi, Kenya
January 27, 1998

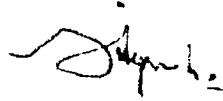


Takefumi FUKUHARA, M.D.
Team Leader
Japanese Implementation Study Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



William K. A. BOIT
Director
Kenya Medical Training College
Republic of Kenya


S. M. MBOVA, CBS
Permanent Secretary
Ministry of Health
Republic of Kenya


J. K. KINYUA
Financial Secretary
Ministry of Finance
Republic of Kenya

**Tentative Schedule of Implementation
for the Kenya Medical Training College Project**

	97	J.F.Y.1998	J.F.Y.1999	J.F.Y.2000	J.F.Y.2001	J.F.Y.2002
	3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
1. Project Activities (1) To conduct training of teaching staff in educational methods and production of materials. (2) To carry out research for improvement of educational curricula in selected fields (Clinical Medicine, Nursing, Public Health, etc). (3) To develop and improve educational materials.						
2. Japanese Experts Chief Advisor Coordinator Clinical Medicine Nursing Management Information System Public Health Production of educational materials Other expert (s) mutually agreed upon as necessary		Long-term:4 Experts Short-term:5-7 Experts	Long-term:4 Experts Short-term:5-7 Experts	Long-term:4 Experts Short-term:5-7 Experts	Long-term:4 Experts Short-term:5-7 Experts	Long-term:4 Experts Short-term:5-7 Experts
3. Training C/P in Japan Training fields mutually agreed upon as necessary.	2 pers	3 persons	3 persons	3 persons	3 persons	2 persons
4. Machinery and Equipment for: Audio-visual education Production of educational materials Clinical and practical training Field study Administration and management of college Other relevant machinery and equipment mutually agreed upon as necessary		To be provided once a year	To be provided once a year	To be provided once a year	To be provided once a year	To be provided once a year
5 Missions from Japan		Consultation Team		Advisory Team		Evaluation Team
6 Local Cost Support		Special Measures for Training of Middle-level Manpower (100%)	Special Measures for Training of Middle-level Manpower (80%)	Special Measures for Training of Middle-level Manpower (60%)	Special Measures for Training of Middle-level Manpower (40%)	Special Measures for Training of Middle-level Manpower (20%)

REMARKS (1) J.F.Y.:Japan Fiscal Year (2) Local Cost Support(%):The portion to be covered by the Japanese side

K.S. D

2/21

J.K.M.C.

**Project Design Matrix (PDM)
for The Kenya Medical Training College Project**

Project Structure (Narrative Summary)	Indicators of Achievements (Verifiable Indicators)	How quantified and assessed (Means of Verification)	Important Assumptions and Risks
<p align="center">(Overall Goal)</p> <p>Competent co-medical personnel are provided in the Republic of Kenya.</p>	<p>1. Improved quality of health services provided by co-medical personnel.</p>	<p>1-1. Health facility utilization reports. 1-2. Client satisfaction surveys. 1-3. Action plans, quarterly and annual reports.</p>	<p>a. Economic and political situation in the Republic of Kenya is stable.</p>
<p align="center">(Project Purpose)</p> <p>The educational capacity of teaching staff in KMTC is improved.</p>	<p>1. Guidelines of in-service training programme 2. Percentage of teaching staff of MTCs at district and sub-district level who receive in-service training activities. 3. Utilization of developed educational materials.</p>	<p>1. In-service training policy documents including guidelines, procedures and forms. 2. The annual report of in-service training including the subjects and the list of teaching staff. 3. Faculty records on developed educational materials in KMTC.</p>	<p>a. The role and function of KMTC as main source of co-medical personnel in Kenya will not change.</p>
<p align="center">(Outputs / Results)</p> <p>1. In-service training programs for teaching staff are developed. 2. Educational curricula are improved. 3. Pedagogical skills of teaching staff and production skills of educational materials are strengthened.</p>	<p>1. Contents and frequency of in-service training. 2. Contents of educational curricula. 3. Number of educational materials developed and produced.</p>	<p>1. The annual report of in-service training including the subjects and the list of teaching staff 2. Educational curricula records in KMTC. 3. Inventory of the educational materials developed.</p>	<p>a. Educational materials and pedagogical skills in KMTC-Nairobi spread to district MTCs.</p>
<p align="center">(Activities)</p> <p>1. Training of teaching staff in educational methods and production of materials are conducted. 2. Research for improvement of educational curricula in selected fields (Clinical Medicine, Nursing, Public Health, etc.) is carried out. 3. Educational materials are developed and improved.</p>	<p>(Inputs)</p> <p align="center">-Japanese Side-</p> <p>* Dispatch of Japanese Experts : Long Term: Chief Advisor(60M/M) Coordinator(60M/M) Nursing(60M/M) Management Information System(60M/M) : Short Term: When necessity arises for the smooth implementation of the Project * Counterpart training in Japan * Provision of machinery and equipment</p> <p align="center">-Kenyan Side-</p> <p>* Provision of land and facilities for the Project * Counterparts (Kenya Medical Training College) : Project Manager(60M/M) Project Coordinator(60M/M) Head of Faculties(60M/M) * Appropriation of local cost for the Project</p>		<p>a. Counterparts personnel selected will continue to work for the Project.</p> <p>(Pre-conditions) a. KMTC maintains policy for the improvement of capability for KMTC teaching staff. b. KMTC maintains policy for the improvement of pedagogical methods and educational materials.</p>

REMARKS (1) Project Duration : 1 March, 1998~28 February, 2003

(2) Implementing Organization: Kenya Medical Training College

Handwritten signature

Handwritten mark

Handwritten mark

**MINUTES OF DISCUSSIONS
BETWEEN JAPANESE IMPLEMENTATION STUDY TEAM
AND AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF KENYA
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE KENYA MEDICAL TRAINING COLLEGE PROJECT**

The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as "the Team"), visited the Republic of Kenya from January 20, 1998 to January 27, 1998, for the purpose of working out the details of the technical cooperation programme concerning the Kenya Medical Training College Project in the Republic of Kenya.

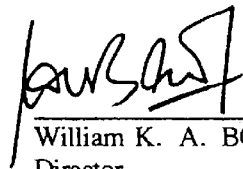
During its stay in the Republic of Kenya, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Kenyan authorities concerned about activities and implementation of the Project.

As a result of the discussions, both sides agreed upon the matters referred to in this document attached hereto.

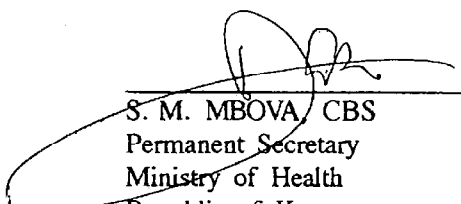
Nairobi, Kenya
January 27, 1998

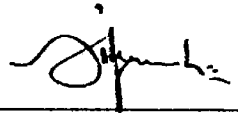
福原 毅文

Takefumi FUKUHARA, M.D.
Team Leader
Japanese Implementation Study Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



William K. A. BOIT
Director
Kenya Medical Training College
Republic of Kenya


S. M. MBOVA, CBS
Permanent Secretary
Ministry of Health
Republic of Kenya


J. K. KINYUA
Financial Secretary
Ministry of Finance
Republic of Kenya

1. KENYA MEDICAL TRAINING COLLEGE ORGANIZATION CHART

The Government of Kenya, through the Ministry of Health is undertaking Health Sector Reforms which is likely to change the current organization chart of Kenya Medical Training College (hereinafter referred to as "KMTC") , attached as ANNEX I. If the Health Sector Reform Process is undertaken as proposed, the organization chart attached as ANNEX II will be adopted. This will consequently replace ANNEX I and lead to a revision of the RECORD OF DISCUSSIONS in this context and changes in counterpart personnel attached herewith as ANNEX V, LIST OF KENYAN COUNTERPARTS AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL.

2. SPECIAL MEASURES FOR MIDDLE-LEVEL MANPOWER TRAINING

The Government of Japan will supplement a portion of the following local expenditures necessary for the training programmes for middle-level KMTC teaching staff conducted in the Republic of Kenya.

- (1) Travelling allowances for the training of participants between their assigned places and the site of the training.
- (2) Cost of the production of educational materials.
- (3) Travel costs of the training participants for their field trips.
- (4) Cost for procurement of supplies and equipment necessary for the training programmes.
- (5) Travelling allowances of the resource persons of the training programmes accompanying the training participants on their field trips.
- (6) Remuneration of the resource persons invited from organizations other than those directly connected with the Project.

Both sides agreed that Japanese funding for the above-mentioned expenses shall be reduced by 20% annually as per attached Tentative Schedule of Implementation. The reduction of the Japanese funding shall be compensated by additional funding, by the Government of Kenya through KMTC.

3. MACHINERY AND EQUIPMENT PROVIDED BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

- (1) Both sides agreed that the Kenya Government through KMTC will be responsible for local costs such as maintenance, insurance and any other costs for the machinery and equipment provided by the Government of Japan for the successful implementation of the Project.
- (2) Both sides also agreed that proper records and inventories of machinery and equipment provided by the Government of Japan will be maintained by KMTC.

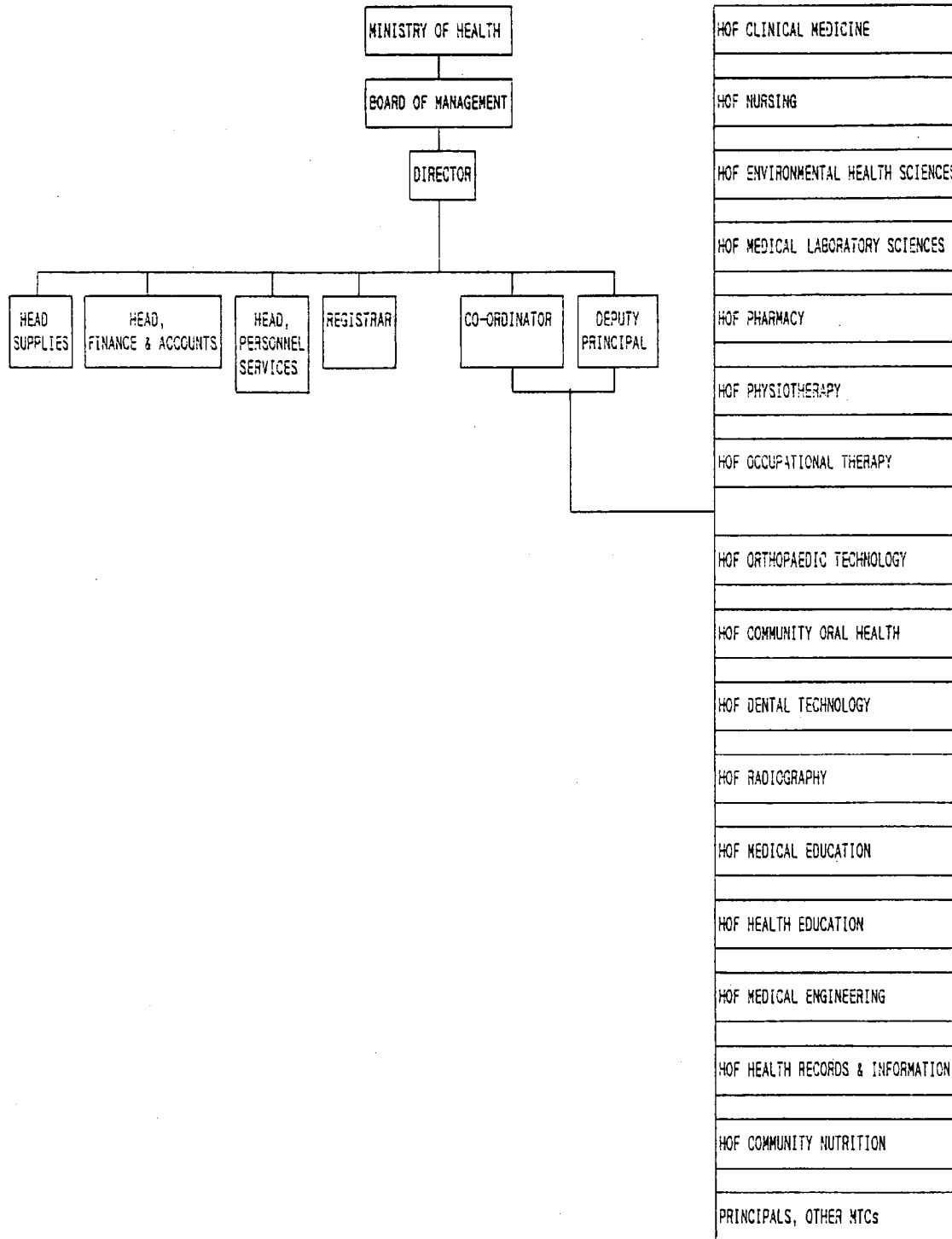
Handwritten mark, possibly initials or a signature.

Handwritten signature: J. K. ... 29/11

Handwritten signature: J.K.

Handwritten signature: J.

ANNEX I: CURRENT ORGANIZATION CHART OF KOTC



LEGEND: HOF = HEAD OF FACULTY

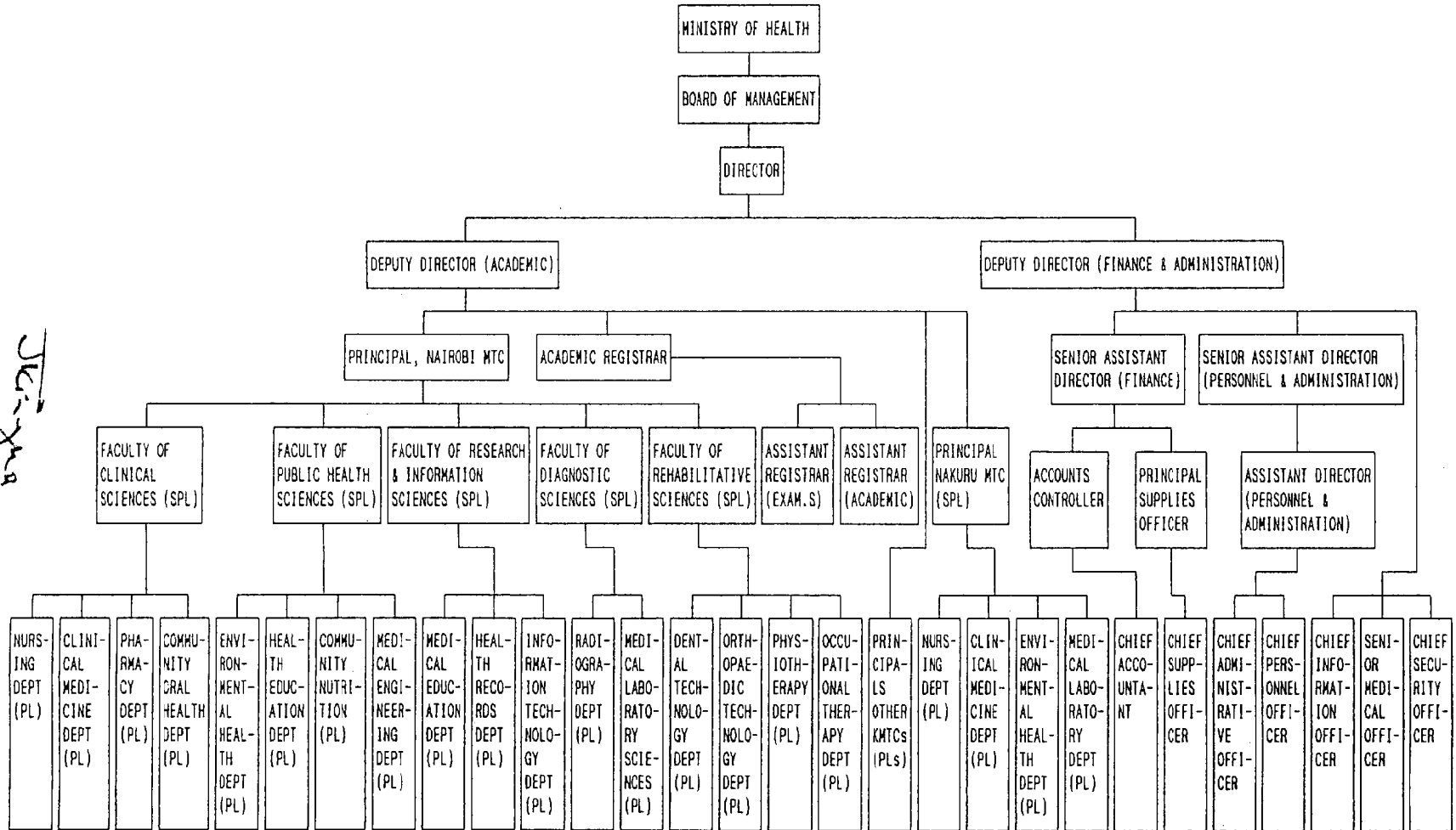
27 January, 1998

福

J. King 29/1/98 *AS.* *D*

ANNEX II: PROPOSED ORGANIZATION CHART OF KMTc

Handwritten initials



Handwritten note: Stepping

Handwritten initials

Handwritten signature

LEGEND SPL = SENIOR PRINCIPAL LECTURER, PL = PRINCIPAL LECTURER

27 January 1998